

ぼらっと

【第22号】

2011年7月28日



『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

〒020-0541栗石町千刈田82-2

栗石町総合福祉センター内

栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 F A X/691-1140

e-mail/shizukuishi-VC@shisha.or.jp

<http://www.shisha.or.jp/>

ホームページからもご覧になれます。

東日本大震災復興支援 ボランティア活躍中!

七月二日(土)と四日(月)は、栗石町、山田町の復興支援活動を行いました。ボランティアの方々の協力を得て、被災地の復興活動を進めています。ボランティアの皆さん、ご協力をお願いします。



青空だけど、いまだにがれきの山でした。



作業場は果てしなくあり...



土嚢袋の数に驚き...

ボランティアの皆さん、ご協力をお願いします。被災地の復興活動を進めています。ボランティアの皆さん、ご協力をお願いします。

復興活動を進めています。ボランティアの皆さん、ご協力をお願いします。被災地の復興活動を進めています。ボランティアの皆さん、ご協力をお願いします。



思い出の品かも...丁寧な作業です。

お支行きア
願援い続セ
いごますきン
致協力。災
しまよ皆地
すろ様の支
。しのご援
くごを引



☆あのなはあ〜ん
からのお願いです☆

ぼらっと21号のボランティアの達人コーナーで紹介した、あのなはあ〜んの「まごころ配達運動」は、今年も11月頃を目標に活動を開始いたします。

この運動では、30名分程のひざ掛けなどを作る為、たくさんの方が必要となります。今年も使用する毛糸を町内の皆様から募集をいたします！

ご自宅ですらなくなった毛糸や、ダンスに眠っているセーターなどはございませんか？きつと素敵なお品をプレゼントに大変身しますよ！皆さんの「まごころ」を一緒に届けましょう！
皆様のご協力お願い致します。

☆ボランティア活動センター
TEL：692-2230

担当：澤口・村上
※ご自宅までお伺いします。



今回は「NPO法人
まちあそび」代表、
石井浩一さんです。

質問(以下◎)：石井さんは、左記のNPOの活動を普段行っていますか、6月末の、◎ふるさと日帰りバスにご協力して頂きましたね。今回、災害ボランティアとして活動をされたきっかけはなんですか？

石井(以下◎)：今回の大震災で普段の活動を活かして何か出来ないか...と思っていました。それだと思い付いたのが、「栗石町に避難されている方々を一旦ふる

とに戻すお手伝いをしてみたらどうか。」すぐに災害ボランティアセンターへ話をし、今回のバス運行に至りました。

◎被災者の方々から「行って良かった」という声を頂けて本当に良かったですね。震災後、被災地へ頻りに足を運んでいますが、どういう印象をお持ちですか？

◎やっぱり、だんだんとボランティアさんの数が減ってきてるという印象はあ



りますが、まず被災者の方々の笑顔が徐々に返って来ましたし、瓦れきなど散乱してたものが片付けられていくのを見ると嬉しく思います。

◎ありがとうございます。ご紹介した事、現在の活動の様子など、また是非紹介させて下さい！



◎ふるさと日帰りバス

6月28日に町内の各施設に避難されている方を対象に山田町・大槌町へ日帰りのバスを運行しました。3カ月半ぶりにふるさとへ帰った24名の参加者は、自分の街の復興状況を見たり、お墓参りや、地元に残った方との再会をしました。

教えて！ NPO



このコーナーでは、NPOしずくいし・いきいき暮らしネットワークからの最新情報や町内のNPO団体を紹介します。

第8回目となる今回は、「まちあそび」。まちあそびは、「栗石町および周辺地域の自然、環境、人材、物産を生かしたイベント等の企画と実施。まちづくりの人材育成」を目的とし、個性と能力を十分に発揮できる活物基盤の強化に関する事業を行い、市民社会の発展と自然環境の保護およびそれを生かしたまちづくりと地域の活性化を推進しています。今後も栗石町および周辺住民の協力・参加のもと、昔語り教室など各種イベントを通し、栗石のまちづくりを支援していきます。

現在は3・11肖像写真プロジェクトに参加し、各方面で活躍する写真家と一緒に被災地で活動もしています。

編集後記

日中はすく暑いので熱中症対策を。しかし、朝晩は肌寒い日があります。体調管理に気をつけてお過ごしください。

